

第10回

「住まい・まち学習」教育実践研修会

住まい・まち学習の

カリキュラム実践・デザイン力を磨く

2023年3月25日(土) 13:30~17:00

オンライン (Zoom) 開催

参加費：無料
 定員：60名
 締切：定員になり次第締め切り
 主催：一般財団法人 住総研
 「住まい・まち学習」普及委員会
 後援：国土交通省

SDGsに
対応した学びを探る

小・中・高等学校の教員の方
 だけでなく、**住まい・まち学
 習にご関心のある方なら、ど
 なたでもご参加頂けます。**

1. 講演

“地球環境の危機”と住環境授業づくりの視点

小澤紀美子 (東京学芸大学名誉教授)

・ 住まい・まち学習の基本的な考え方と実践について

炭竈 智 (教育図書株式会社)

・ SDGsについて

2. 授業づくりのヒント

長濱 裕也 (板橋区立西台中学校校長)

・ SDGsに関わる授業実践について

志村 優子 (まちづくりプランナー)

・ 住教育関連情報について

3. パネルディスカッション

勝田 映子 (帝京大学教授)

楚良 浄 (小学校図工専科教諭)

長濱 裕也 (前掲)

植田真理子 (帝京平成大学講師)

3. ワークショップ

希望のグループに分かれて、住まい・まち学習
 授業の体験をします。(詳細は裏面)

参加者同士の意見の交換や経験を通じて、授業
 づくりに生かせるスキル向上を目指します。

■申込方法 (ホームページの公開は12月1日より)

ホームページの申込みフォームよりお申込みください。

住総研HP <http://www.jusoken.or.jp/diffuse/study.html>

ワークショップでは裏面掲載のグループワーク3つの中
 から1つを選んでご参加頂けます。

人数が偏った場合は抽選になります。

抽選の結果は研修会の2~3日前にお知らせ致します。

■主催

住総研「住まい・まち学習」普及委員会

委員長 小澤紀美子 (東京学芸大学名誉教授)

委員 勝田 映子 (帝京大学教授)

志村 優子 (まちづくりプランナー)

炭竈 智 (教育図書株式会社)

仙波 圭子 (元女子栄養大学教授)

楚良 浄 (小学校非常勤図工専科教諭)

原 宗一郎 (国土交通省住生活サービス産業振興官)

お問合せ：一般財団法人 住総研

東京都中央区日本橋 3-12-2 朝日ビルディング 2階

TEL03-3275-3078

第10回「住まい・まち学習」教育実践研修会 ワークショップ グループワーク内容

以下の3つのグループワークの中から、1つを選んでご参加頂けます。
人数が偏った場合は抽選になります。

①地球にとってもわたしにとっても快適な住まい方とは？

今、SDGs時代にマッチした「新しいライフスタイル」が求められています。しかし、地球にとって快適な住まい方は、自分にとってはそうではないかもしれません。地球にもわたしにも快適な住まい方とは、どんなものなのでしょう？ エコライフや快適な住まい方などの最新情報をチャージして、共に考えてみましょう。

②あったらいいな、こんな居場所 ～ウィズ／アフターコロナのサードプレイスを考えてみよう～

人は、いろいろな人とつながって生きています。地域やコミュニティで安心・安全に暮らしていくためには人と人のつながりが大切です。子どももシニアも世代を超えて、人のつながりがあり、個人にとっても居心地がよく、安心できる「居場所」をつくるために必要な要素・ことや、つながり方を考えていきます。

③災害・緊急時を生きる ～避難所のルールを考えよう～

地震×大雨、コロナ×地震・・・など、災害と緊急時が重なってやってくるのが想定される今、地域や家庭で、怯えずに備えて暮らす工夫が必要です。地域の避難所でさまざまな状況の家族ができるだけ快適に避難生活を送るには、どのような工夫が必要でしょうか。避難所でのルール作りを共に考えてみましょう。

■申込方法

ホームページの申込みフォームよりお申込みください。（ホームページの公開は12月1日より）

住総研HP <http://www.jusoken.or.jp/diffuse/study.html>

お申し込みの際は上記グループワークの中から第1希望、第2希望を選んでください。

抽選の結果および参加URLは研修会の2～3日前にお知らせ致します。

ワークショップにご参加の際は、ZoomのカメラをONにしてご参加ください。

■申込締切

3月16日（木）まで

告知

第15回住教育授業づくり助成募集

住教育授業に取り組む小学校・中学校・高等学校または団体に対し
費用助成を行います。

- ◆助成額： 各校/団体一律 10万円
- ◆応募資格： ①国内の小・中・高等学校（高専を含む）。国立・公立・私立は問いません。
②または、上記の学校に対して助成対象授業を行う団体。
- ◆応募校数： ①②を合わせ、全国で5～6件を予定。
- ◆授業実施例： これまでの事例は、当財団ホームページの授業実施報告書をご覧ください。
- ◆授業実施期間： 2023年9月～2024年2月末日
- ◆応募期間： 2023年4月～2023年6月末日（予定）

詳細は住総研のホームページでご確認ください。

(<http://www.jusoken.or.jp/diffuse/education2.html>)